

緑のカーテン取り組み情報



お名前(ニックネーム)	芦澤 公子さん (富士川町)		
育てた植物の種類	ゴーヤ、朝顔、ふどう(ベリーA)		
設置場所	住宅南側		
カーテンの大きさ	高さ: 約 4 m, 幅: 約 5 m	取り組み年数	7年目

緑のカーテンの効果

我が家はエアコンがないので、今夏も緑のカーテンを育てることによって快適に過ごせました。昨年の夏よりも平均気温が低いこともあり、家の1階では扇風機もあまり使っていません。朝はひんやりするくらい涼しいです。

緑のカーテンから差し込む黄緑色の光が家の中にあふれて、木陰にいるような気持ち良さです。家族からも涼しいと好評です。

育てる際の工夫・苦労

カーテンが家の2階まで生長するまでに時間がかかるため、今年は日よけを組み合わせました。

〔ゴーヤ〕

熟したゴーヤの種を毎年とっておき、4月中旬にポットに植えて、夜はビニールをかぶせるなど温度管理をしっかりとて発芽させています。苗は5月中に植え付けることが鉄則です。6月にずれ込むと伸びる時期を逃してしまい育ちが悪くなります。大きなプランターに植える苗は2本までで、土づくりはコンポストで作った堆肥と化成肥料を組み合わせで行います。

広がって生長するように、つるが1mくらい伸びたら先端を摘み、また、軒まで伸びるまでは実がつかないように雌花(花の芯が緑色)を摘みます。実がつき始めると実に栄養が取られてしまうので、つるの生長が悪くなります。軒まで達した頃から、月2回程度、化成肥料をやっています。葉が黄色になったら苦土石灰をやり、マグネシウムを補いました。

水やりは朝と夕方にたっぷりと行います。病害虫対策はしませんでした。

【ぶどう】

3年目の苗を50cm位まで剪定して育てました。現在は軒の上まで伸びています。水やりの量は、ゴーヤより少なめです。病虫害対策はしていません。

【朝顔】

昨年こぼれた種から伸びてきたものを、そのまま育てています。朝顔はネットを片付ける時に絡みついたつるを取るのが大変なので、あえて植え付けはしませんでした。自然に伸びてきたのでそのまま一緒に育てています。花が咲くと緑のカーテンに彩りを添えるので、にぎやかな感じになります。

感想・楽しみ方など

ゴーヤは、これまでに70本ほど収穫しました。知り合いに配ったり、ゴーヤチャンプルー・つくだ煮・スムージーなどにしておいしく食べました。ぶどうは、今年で3年目ですが、冬の大雪に埋もれた困難に耐え、今年は初めて果実が実り、おいしく食べました。

役場や児童館にも苗を分けて、緑のカーテンの取り組みを勧めたり、育て方のノウハウの提供もしています。緑のカーテンを設置することによって、涼しく過ごせることを体感できているので、今後も毎年取り組みたいと思います。